

塘研究室現地調査報告

今年度も私たちの研究室では、猪苗代湖及びその周辺の池沼・湿地の底生動物相調査を実施します。5月14日、猪苗代町戸ノ口（翁沢）の池から調査を開始しました。積雪量が極端に少なかった昨年に比べて今年は例年通り（？）の積雪量だったこともあり、池の水位が高く、通常は陸である場所でしか調査ができませんでした。それでもガムシや昨年度の調査では未記録のコオイムシ、サハリントビケラ、アミメトビケラ属などの生息が確認できました。この池からは水路を通して東側と北側の2ヶ所に水が流出しており、北側への流出はかなりの落差で水が落ち、その先の林の中に小さな水溜まりができていました。そこにはサワガニ、オニヤンマ、オナシカワゲラ属などが見られました。

その後、猪苗代湖北部（志田浜と上戸浜）に行ってみましたが、こちらも水位が高く、湖本体では調査ができませんでした。上戸浜では昨年度生息を確認したエサキナガレカタビロアメンボも見つけられませんでした。志田浜西の湖に隣接する湿地では、ナミフタオカゲロウ、ミズギワカメムシ、マダラケシカタビロアメンボ、キリバナトビケラ属、*Odontomyia* 属のミズアブ類、キイロヒラタガムシの生息を確認しました。



戸ノ口（翁沢）の池



アミメトビケラ属の幼虫



オニヤンマの幼虫



ガムシ



猪苗代湖・志田浜に隣接する湿地



猪苗代湖・上戸浜